



税金の役割とこれからの私たち

大田区立矢口中学校 三年 鎌田 こうめ

私たちの日常には、たくさんの「税金のおかげ」があるのに、それがあまり意識されていないのはなぜだろう。まだ国民は税金に対しての不安や、不信感を持っている人が多いのかもしれませんが。この疑問を解決するために、私は自分の経験や学びを通して、税金の意味について伝えていきたいと思います。

まず、私は海外のダンスツアーに参加したことがあります。その国では、街のほとんどがスラム街で、ひび割れた道路や絡まった電線、動物の死体などが平気で転がっていました。とても綺麗といえる環境ではありません。日本では整備された道路、きれいな水、ごみの収集が当たり前になっていますが、これらは税金によって支えられているのです。日本が環境の清潔さや、平和を守ろうとしていることを私は誇りに思います。

また私は、公民の授業で少子高齢化について学びました。そこで高齢者の増加や、出生率の減少理由について改めて知り、税金がどれだけ生活支援や福祉に使われているかをさらに実感しました。また、最近の二コースでの授業料無償化や、出産育児金の増額など、子育て支援を強化する税金の使い方がとても良いと思います。それに伴い、生活が苦

しい人たちに向けた生活保護制度など、様々な制度があることも知ることができました。

これらの制度は、少しでも生活が豊かに送れるものであり、国や社会が国民の生活を大切にしようとしている姿勢が見えてきます。しかし一方では、少子化が大きな問題となっていて、将来私たちは今より多くの税金を払わなければいけなくなると考えられています。なのでこれからの日本を支えるために、子供の人数を増やしていく必要があります。今の日本で出生率が減少しているのは、金銭的な問題だけではなく、子育てと仕事の両立の難しさや、心の面での不安などが挙げられます。これらは、個人の努力ではカバーしきれない部分です。だからこそ、少子化対策に税金を多く使うなど、「活用の質」を高めることが最も大切だと思います。

税金は、社会を支える重要な役割だと考えています。しかし「私たちが本当に税金を払う必要があるのか」という声も少なくありません。たしかにそう感じることもあります。ですが、国民が安全に暮らすためのまちづくりをしたり、公共サービスを充実させるために必要なのが税金です。一人で道路を整備したり、学校を建てたりすることはできません。ですが、みんなが少しずつ力を合わせるからこそ社会は作り出されます。その考えに気づいたとき、税金はただ取られるものではなく未来を守るための投資だと思えるのではないのでしょうか。税金は私たち国民の生活を豊かにする大切な仕組みです。私はこれからも自分の身の回りにある社会に目を向け、「どのような税金が使われるべきなのか」を自ら考えられる人になりたいです。